PY00-30165-DM10-01

ハードディスクセキュリティの使いかた

ハードディスクセキュリティは、弊社製ハードディスク（USBやIEEE1394で接続したものに限る）に保存したデータをパスワードを使ってロックするソフトウェアです。

⚠注意

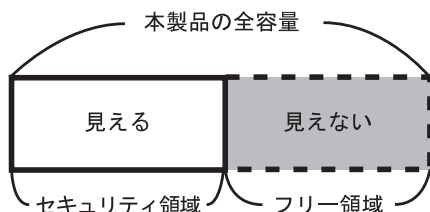
- **このソフトは、Macintosh環境では使用できません。Windowsにのみ対応しています。**
- **WindowsXP/2000をお使いの場合、コンピュータの管理者権限のあるユーザーでログインしてください。**
- **本ソフトを使用するときは、USB接続およびIEEE1394接続のハードディスクを2台以上取り付けないでください。2台以上取り付けると、正常に認識できないことがあります。**
- **ハードディスクをパソコンに接続しても認識しない場合は、いったんパソコンからハードディスクを取り外し、再度取り付けてください。**
- **本ソフトは簡易的なものです。ハードディスクから直接データを吸出したときや、特殊なソフトウェアによる解析を行ったときなど、セキュリティをかけたデータを保護できないことがあります。高度なセキュリティを要求される場合は、市販のデータ暗号化ソフトをお使いください。**

ハードディスクセキュリティとは

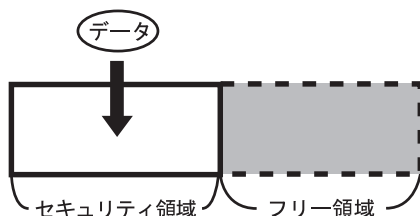
ハードディスクセキュリティは、USBやIEEE1394で接続した弊社製ハードディスク内のデータをパスワードを使ってロックするソフトウェアです。一度ロックすると、パスワード入力してロックを解除するまでデータを読み出すことができないようになります。
データをロックするまでのながれは次ページのようになります。

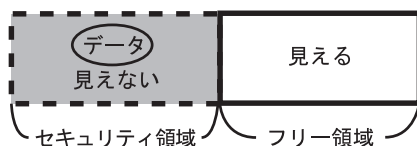
次頁へ続く

1　ハードディスクに「セキュリティ領域」と「フリー領域」を設定します。

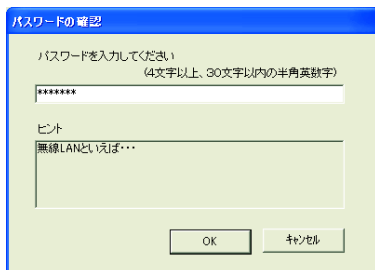
この操作を行なわないと、パスワードでデータをロックすることができません。

設定すると、マイコンピュータやエクスプローラ上では、セキュリティ領域だけが見えます。

※フリー領域は見えません。

2　データを記録します。

データはセキュリティ領域に記録されます。

3　セキュリティ領域をロックします。

ロックすると、マイコンピュータやエクスプローラ上から、データが記録されたセキュリティ領域が見えなくなります。

※フリー領域は見えます。

データを読み出すには･･･

ロックされたデータはパスワードを入力しないと読み出すことができません。

対応ハードディスク

ハードディスクセキュリティに対応したハードディスクは以下のとおりです 。

- **USBやIEEE1394で接続した弊社製ハードディスク**

ハードディスクセキュリティを使用する前に

ハードディスクセキュリティを使う前に、セキュリティを設定するハードディスクに記録されているデータをあらかじめ他のハードディスクなどにバックアップしてください。本ソフトで次のことを行なった場合、記録されているデータがすべて削除されます。

- **領域を設定した場合**
- **領域のサイズを変更した場合**
- **領域を削除した場合**

※ ハードディスクを初めて使用する場合やハードディスクにデータが記録されていないときは、バックアップの必要はありません。

インストール方法

1 **製品付属のCDをパソコンにセットします。**

簡単セットアップが起動します

2 **[ハードディスクセキュリティのインストール]を選択し、[開始]をクリックします。**

以降は、画面の指示に従ってインストールしてください。

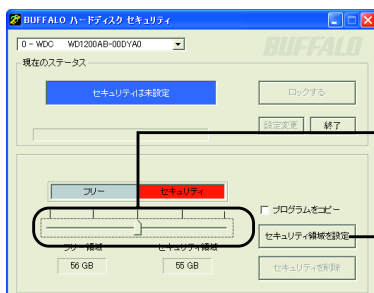
セキュリティ領域を設定する

はじめにハードディスクのデータ記録領域に「セキュリティ領域」を設定します。
この作業を行わないと、データをロックできません。

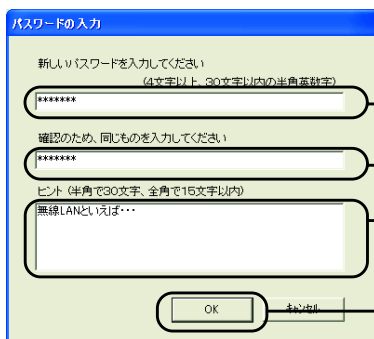
⚠注意 **セキュリティ領域を設定するハードディスクに記録されているデータはすべて削除されます。データが記録されている場合は、事前に他のハードディスクなどにバックアップしてください。**

1 **[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[Secure]-[ハードディスクセキュリティ]を選択します。**

ハードディスクセキュリティが起動します。

2

① ゲージをマウスでドラッグし、領域を設定します。

② [セキュリティ領域を設定]をクリックします。

3

① パスワードを入力します。

② 上記で入力したパスワードをもう一度入力します。

③ パスワードのヒントを入力します(入力しなくてもかまいません)。

④ [OK]をクリックします。

4 **「領域を変更すると、対象メディア内の全データが消去されます。よろしいですか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。**

領域が設定されます。

次頁へ続く

「タスクトレイの取り外しアイコンを用いて、取り外し処理を行ってから、ドライブをいったん抜いて、再度接続してください（略）」と表示された場合

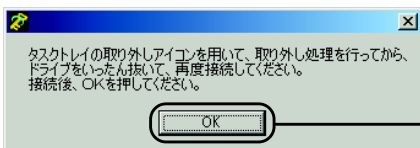
以下の操作を行ってください。

1 **タスクトレイのアイコン（ ）をクリックし、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ（*）を停止します」をクリックします。**
下線部は、お使いの環境によって異なります。

（ ）アイコンが表示されていない場合は、以下の手順**3**へ進んでください。

2 **「安全に取り外すことができます」と表示されたら、[OK]をクリックします。**

3 **いったんパソコンからセキュリティ領域を設定したハードディスクを取り外し、再度取り付けます。**

4

5 **「アプリケーションを終了します」と表示されたら、[OK]をクリックします。**

以上でセキュリティ領域の設定は完了です。

データをロックする

セキュリティ領域に記録されたデータは、次の手順でロックできます。

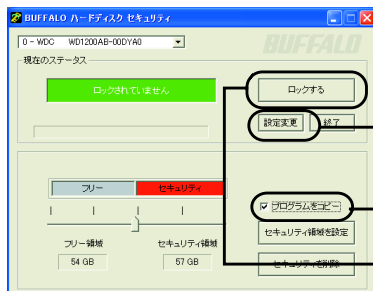
メモ **ロックされたデータは、ロックを解除するまでマイコンピュータやエクスプローラなどからアクセスできなくなります。**

1 **セキュリティ領域を設定したハードディスクにデータをコピーします。**

2 **[スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[Secure]-[ハードディスクセキュリティ]を選択します。**

ハードディスクセキュリティが起動します。

ロックしたデータを持ち運ぶ場合

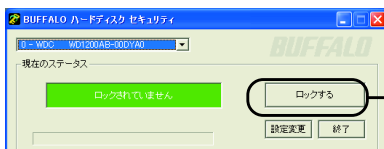
外出先のパソコンなどでロックを解除できるように、本ソフトをセキュリティを設定するハードディスクにもインストールします。

① [設定変更]をクリックします。

② [プログラムをコピー]をクリックし、チェックマーク(✓)をつけます。

③[ロックする]をクリックします。

次頁へ続く

ロックしたデータを持ち運ばない場合

データをロックしたパソコンでのみ、ロックの解除ができます。

「タスクトレイの取り外しアイコンを用いて、取り外し処理を行ってから、ドライブをいったん抜いて、再度接続してください（略）」と表示された場合

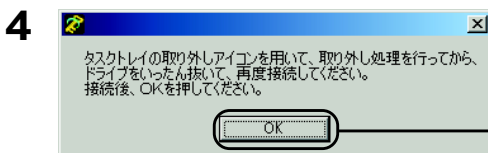
以下の操作を行ってください。

1 タスクトレイのアイコン( )をクリックし、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ(*)を停止します」をクリックします。
下線部は、お使いの環境によって異なります。

( )アイコンが表示されていない場合は、以下の手順3へ進んでください。

2 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、[OK]をクリックします。

3 いったんパソコンからハードディスクを取り外し、再度取り付けます。

4

3 「アプリケーションを終了します」と表示されたら、[OK]をクリックします。

以上でデータのロックは完了です。

次頁へ続く

ロックを解除する

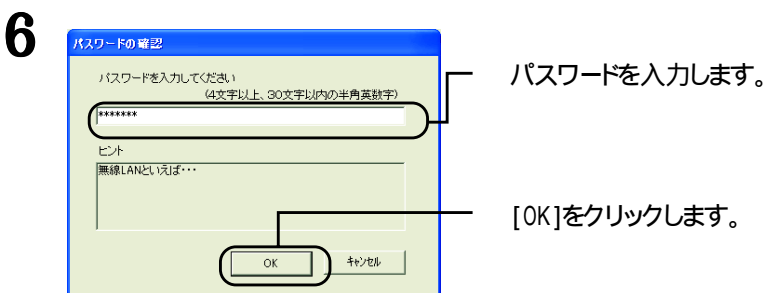
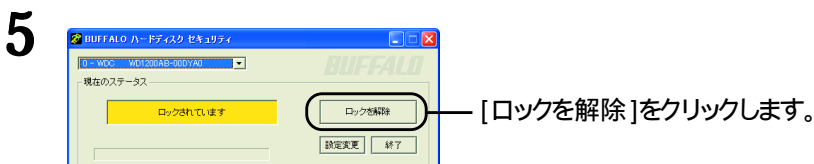
ロックを解除する手順は、ロックのしかた(P6,7参照)によって異なります。

■「ロックしたデータを持ち運ぶ場合」(P6 参照)の方法でロックした場合

1 データをロックしたハードディスクをパソコンに取り付けます。

2 WindowsXPをご使用の場合は、[スタート]-[マイコンピュータ]を選択します。
Windows2000/Me/98SE/98をご使用の場合は、デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックします。

3 「SECURE_ZONE」をダブルクリックします。

4 「Secure.exe」( )をダブルクリックします。
ハードディスクセキュリティが起動します。

5 [ロックを解除]をクリックします。

6

次頁へ続く

「タスクトレイの取り外しアイコンを用いて、取り外し処理を行ってから、ドライブをいったん抜いて、再度接続してください（略）」と表示された場合

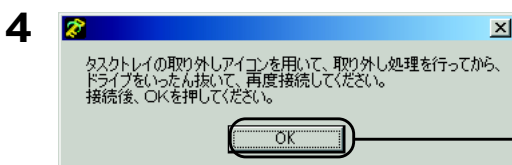
以下の操作を行ってください。

1 **タスクトレイのアイコン( )をクリックし、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ(*)を停止します」をクリックします。**
下線部は、お使いの環境によって異なります。

( )アイコンが表示されていない場合は、以下の手順**3**へ進んでください。

2 **「安全に取り外すことができます」と表示されたら、[OK]をクリックします。**

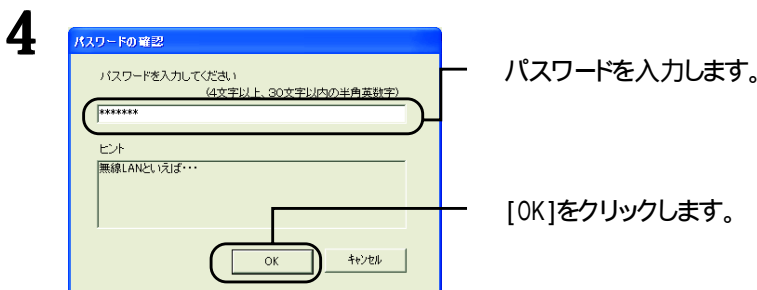
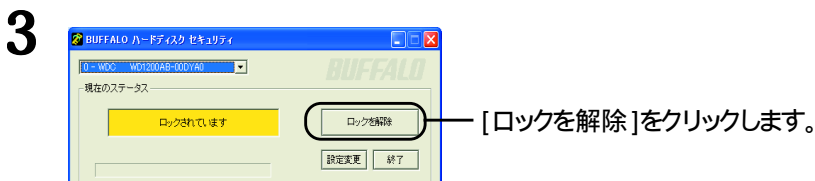
3 **いったんパソコンからハードディスクを取り外し、再度取り付けます。**

4

7 **「アプリケーションを終了します」と表示されたら、[OK]をクリックします。**

以上でロックの解除は完了です。

■「ロックしたデータを持ち運ばない場合」(P7 参照)の方法でロックした場合

1 データをロックしたハードディスクをパソコンに取り付けます。

2 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[Secure]-[ハードディスクセキュリティ]を選択します。

ハードディスクセキュリティが起動します。

3

4

「タスクトレイの取り外しアイコンを用いて、取り外し処理を行ってから、ドライブをいったん抜いて、再度接続してください(略)」と表示された場合

以下の操作を行ってください。

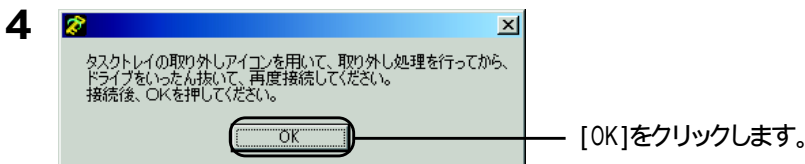
1 タスクトレイのアイコン( )をクリックし、「USB大容量記憶装置デバイス－ドライブ(*)を停止します」をクリックします。
下線部は、お使いの環境によって異なります。

( )アイコンが表示されていない場合は、以下の手順**3**へ進んでください。

2 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、[OK]をクリックします。

次頁へ続く

3 いったんパソコンからハードディスクを取り外し、再度取り付けます。

4

5 「アプリケーションを終了します」と表示されたら、[OK]をクリックします。

以上でロックの解除は完了です。

セキュリティ領域を削除するには

セキュリティ領域は次の手順で削除できます。

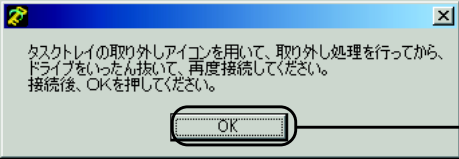
⚠注意

- **ハードディスクのフォーマット(初期化)は、必ずセキュリティ領域を削除してから行なってください。セキュリティ領域が設定されていると、正常にフォーマットできないことがあります。**
- **セキュリティ領域の設定やサイズ変更、削除を行なうと、ハードディスクに記録されているデータは、すべて削除されます。データが記録されている場合は、事前に他のハードディスクなどにバックアップしてください。**

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[Secure]-[ハードディスクセキュリティ]を選択します。

ハードディスクセキュリティが起動します。

2 [設定変更]をクリックし、[セキュリティの削除]をクリックします。

3 「領域を変更すると、対象ドライブ内の全データが消去されます。よろしいですか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。

次頁へ続く

「タスクトレイの取り外しアイコンを用いて、取り外し処理を行ってから、ドライブをいったん抜いて、再度接続してください（略）」と表示された場合

以下の操作を行ってください。

1 タスクトレイのアイコン( )をクリックし、「USB大容量記憶装置デバイスードライブ(*)を停止します」をクリックします。
下線部は、お使いの環境によって異なります。

( )アイコンが表示されていない場合は、以下の手順**3**へ進んでください。

2 「安全に取り外すことができます」と表示されたら、[OK]をクリックします。

3 いったんパソコンからハードディスクを取り外し、再度取り付けます。

4

4 「アプリケーションを終了します」と表示されたら、[OK]をクリックします。

以上で領域の削除は完了です。

ハードディスクセキュリティを削除するには

セキュリティソフトは、次の手順で削除できます。

1 [スタート]-[(すべての)プログラム]-[BUFFALO]-[Secure]-[アンインストーラ]を選択します。

2 「付属ソフトを削除します」と表示されたら、[OK]をクリックします。

3 「ソフトウェアのアンインストールが正常に終了しました」と表示されたら、[OK]をクリックします。

以上でハードディスクセキュリティの削除は完了です。